

**部 報 第 1 3 4 号**

平成 2 6 年 3 月 2 5 日  
(公財)全国高体連卓球専門部

【平成 2 5 年度 (公財)全国高等学校体育連盟卓球専門部第 2 回理事会 議事録】

日 時 平成 2 6 年 3 月 2 5 日(木) 9 : 0 0 ~ 1 1 : 4 5

会 場 ピアザ淡海

出席者 後藤泰之 若尾輝夫 初田泰宏 丸田哲生 小坂信彦 坂部忠彦  
関川治郎 安西弥一郎 宮澤和彦 藤井 祐 武田和久 藤崎武司  
天白 清 堀内安宏 下川和男 島富義之 藤井 健 河野正和  
藤村明弘 塩見卓生 鈴木基稔 川村光男 塚田博文 蓑島尚信  
(以上 2 4 名)

I あいさつ

(公財)全国高等学校体育連盟卓球専門部部長

後 藤 泰 之

II 協議事項

1 第 1 号議案 平成 2 5 年度決算(案)承認の件

堀 内 理 事

- ・ 2/4 時点での報告。
- ・ 予算についてはほぼ予定通りの収入。
- ・ マイナスが多くなっているので各部署での経費削減の必要がある。
- ・ 目標繰越額 300 万円を割り込むと思われる。
- ・ 資料訂正 P2 各種強化事業 備考欄 陶器→冬季

※承認

2 第 2 号議案 平成 2 6 年度事業計画(案)承認の件

(1) 平成 2 6 年度全国高校総体・第 8 3 回全国高校選手権大会(甲府市)

ア 実行委員会より

宮 澤 委員長

- ・ コカコーラが撤退し協賛企業が変更となった。
- ・ 宿泊料金の設定が様々となっている。甲府市内の宿舎が足りないので石和温泉での宿泊が多くなっている関係で、温泉宿でのシングル対応は難しい。
- ・ 練習会場は会場から 2km 以内の範囲に準備したので徒歩での移動が可能。
- ・ 2 会場で 14 台ずつ配置した。武道館は横長となっている。
- ・ 資料追加 P12 16 組合せ イ 日時 15:30 受付 16:00 公開抽選。
- ・ 大会 4 日目の男女学校対抗準決勝が終了予定時刻である 11:00 に終了しない場合は、シングルス 1 回戦を同時進行でスタートさせる事も考えている。
- ・ 資料訂正 P13 第 2 日目→第 1 日目 P14 第 3 日目→第 2 日目 P15 第 4 日目→第 3 日目 P16 第 5 日目→第 4 日目
- ・ 準決勝の会場を男女別としたのは、観客席が両会場とも 1300 席程度しかない事が理由。
- ・ 準決勝の会場を同一会場とすると、男女どちらかが会場を変更して準決勝を実施することになり、選手の立場からすると戸惑う。
- ・ 会場変更については一長一短があるので、地元の意向に沿って実施する。

※承認

イ 大会役員・競技会役員編成(案)

小坂 理事長

- ・全国高体連理事全員が役職に就くことは、経費がかさみ難しい。
- ・進行委員長 稲垣先生は変更予定。
- ・資料訂正 P18 競技役員 21名 23名。
- ・競技役員と運営役員で2度名前が出てくることについて指摘を受けたが、実行委員会とのやりとりの中で了解を受けた。
- ・ブロック理事が全員入っていないのは、役職の数に対してブロック理事数がオーバーするからである。経費削減のためにご理解いただきたい。

※承認

ウ 連続・通算表彰およびその他の表彰

坂部 事務局長

- ・資料の通り。

※承認

(2) 平成26年度第42回全国選抜大会(高松市)

塩見 委員長

- ・競技会場は2会場となる。メイン21台、サブ8台を設置。
- ・使用球はプラスチック製とする予定。
- ・現段階でプラスチックボールを使用すると明記することは難しいかもしれない。理由は現段階では認可を受けているのはニッターと中国の双喜(未確認)のみであり、他メーカーの商品化が間に合わなかったり、ボールの供給が厳しくなることも予想されるからである。
- ・(プラスチック製)の標記については削除し、5月の日本卓球協会理事会の決定を確認して、8月の理事会で再検討する。

※承認

3 第3号議案 平成26年度予算(案)承認の件

堀内 理事

- ・前年度との比較ができる形式とした。
- ・繰越金が減っている。
- ・各項目の予算を削減し、繰越金が300万円を越えるようお願いしたい。

※承認

4 第4号議案 委員会・事務局提案承認の件

(1) 平成26年度強化委員会事業計画(案)

河野強化委員長

- ・ヨーロッパ遠征を取りやめタイ遠征とし経費を削減する。タイ情勢も考慮し安全であることを確認している。
- ・ベトナム遠征は7月の実施となる予定。
- ・世界選手権視察については、5/4 20席、5/5 10席を確保した。強化委員に先着順で配布する。予算については今年度予算より支出する。

※承認

(2) インターハイ開催経費削減実施計画書の件

小坂 理事長

- ・5年間で削減計画を実施し、15～20%削減を目標としている。
- ・大会経費の過去3年間の平均は約3,000万円である。15%削減し2,500万円を目標とする。
- ・人件費は5年間で3%ずつ減額を目標とする。
- ・大会日数は4日間。団体戦は各都道府県対抗が全国高体連の基本であり、各県1チームの考え方となっている。

- ・卓球専門部としては、4日間での開催を検討している。
- ・練習会場の削減についても検討している。55コートから48コートに減らす。
- ・中央競技団体からの役員経費支出を検討する。
- ・総合開会式、各競技の開会式を簡素化する。
- ・全専門部が4日間実施が可能なのか。
- ・支出金額を決めて、その予算の範囲の中で実施し、専門部の実情に合わせた日程設定をしていけばよい。
- ・東京オリンピックに向けた強化の流れに逆行する提案ではないか。
- ・開催地の事情により予算の削減ができない場合もあるし、予算は余裕を持った金額で立案したい思いもある。福岡IHでは予算内で十分実施できた。
- ・学校対抗参加数を48チームを目標とすることを明記することによって、その完全実施を全国高体連から迫られるので、数字の明記しないほうがよい。
- ・強化の観点から、シングルス7ゲームマッチ廃止は止めてもらいたい。
- ・会場に恵まれれば4日間での試合実施は可能であり、さらに大会規模を広げることも可能である。会場決定の方法を模索できないか。
- ・P35 4番については大会期間中に小委員会で検討する。
- ・競技方法変更については大きな問題なので、評議員会までに競技運営委員会で原案を作成する。

※承認

- (3) 規約・規定の改定(案) 安西 副理事長
- ・P37 1については変更済みなので事後承諾となる。
  - ・P37 2については小委員会で検討する。

※承認

III 報告事項

- 1 (公財)全国高等学校体育連盟関係 小坂 理事長
- ・P38 ★全競技 前年度優勝校の優勝旗返還については猛反対し、従来通りの実施となった。
  - ・フェンシング専門部が平成26年度よりエリートアカデミー選手のインターハイ参加を認めた。卓球専門部については出場させる予定はない。
  - ・協賛企業のコカコーラが撤退した。
  - ・北関東インターハイと東京オリンピックがバッティングするので、ローテーションを変更する予定。
  - ・財源が厳しいので、全国高体連が1億2000万円の財源確保のための施策を検討中。
- 2 (公財)日本卓球協会関係 小坂 理事長
- ・プロリーグの設立が検討されている。
- 3 平成26年度全国高校選抜新人合宿 河野強化委員長
- ・ベンチコーチを認める。
  - ・12/6(土)～8(月)で実施予定。
  - ・参加資格を変更し全国総体学校対抗ベスト4の学校からは選出しないこととした。
- 4 平成25年度全国高校選抜春季合宿 河野強化委員長
- ・資料の通り。
- 5 平成25年度全日学連・全国高体連合同合宿 河野強化委員長
- ・選手変更 吉村和弘→田添 響 世界選手権のトレーナーに選ばれたため。

6 全国開催地予定一覧  
・資料の通り。  
・26年度 日韓中 岩手県(奥州市)、日韓 宮崎県(日南市)。

坂 部 事務局長

7 各ブロック大会予定一覧  
・資料の通り。

坂 部 事務局長

8 平成26年度全国大会出場枠  
・資料の通り。

坂 部 事務局長

#### IV 連絡事項

1 平成25年度第41回全国高等学校選抜大会(大津市)  
・プログラム P7 大会日程説明。  
・訂正 P41 女子 13～39(26)→27 土佐女子(中国)→(四国)

堀 内 委員長